

朝霞市議会
請願第 5号
平成28年 11月 16日

請願書

保育士不足を解消するため、

保育士の処遇を大幅に改善することを求める請願

紹介議員

齊藤弘道

朝霞市議会議長様

2016年11月16日

新日本婦人の会朝霞支部

代表 深澤侃子 (やすこ)

朝霞市根岸台7-20-35

保育士不足を解消するため、

保育士の処遇を大幅に改善することを求める請願

待機児童の解消は、保育施設の不足だけではなく、施設が空いていても保育者がいないため子どもを受け入れることができないという保育士不足も大きな要因になっています。過疎地でも保育士確保は困難な状況にあり、保育士不足は全市町村に共通の課題となっています。

この原因は、保育士の賃金の低さや労働条件の厳しさにあります。

賃金では、一般の労働者に比べ月額10万円程度低いことが国会でも明らかにされ、また、職員配置も手がかかる子どもが増えているにも関わらず実態とかけ離れた状況に置かれ、休憩や休みが取れず疲労が解消できない状況に置かれています。そのため、職業として働き続けることが出来ず、多くの保育士が辞めていく実態が進行しています。有資格の保育士は現職保育士の2倍程度いるとされています。賃金を労働者の平均にすること及び実態に見合う職員配置を実現すれば、保育士不足が解消する可能性は大いにあります。

以上の要旨により、以下の意見書を国に提出することを求めます。

保育士不足を解消するため、保育士の処遇を大幅に改善してください。